

専攻科だより

— 生産システム工学専攻第3期生修了 —

*** 専攻科修了にあたって ***

*** 平成20年度専攻科生の活躍 ***

専攻科長

葛目幸一

海上輸送システム工学専攻主任

多田光男

生産システム工学専攻主任

藤本隆士

「修了生の一言メッセージ」(つづき)

濱中 敬司 (機械系)

- ① 以前は苦手であったプレゼンテーションが、講義や学会発表をこなすことにより、資料作成と発表において、理解しやすさに重点を置くことでプレゼンのスキルアップに繋がったこと。
- ② 大学院進学に備え最低限必要であるプログラム(FORTRAN)と有限要素法(FEM)について十分に学習し、入学してからも専攻科で得た経験を活かし研究を行っていきたい。
- ③ 学位審査試験(小論文試験)に向けて自身の研究内容を十分に理解しておくこと。

秦 昂平 (機械系)

私にとって専攻科での二年間は様々なことを学べ、進路についても考えることができた良い経験でした。今後、専攻科に進まれる皆さんもこの貴重な二年間を有効に使い自身のために役立てて下さい。

栗田 充邦 (情報系)

- ① 情報科のことだけでなく、電子のことに関する勉強ができてよかった。だけど、授業に空きがあったり、定休日的な日もあったので、遊ぶ時間が多かった。
- ② 真面目に頑張っていこうと思う。
- ③ 自信をもって学位に対する勉強をすればいいとおもう。

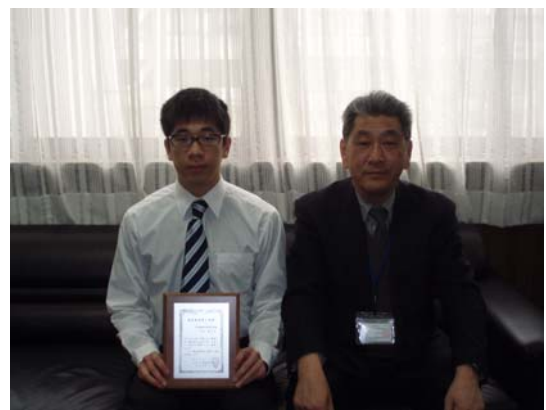
キャンパスベンチャーグランプリ四国 奨励賞を受賞

2008年度キャンパスベンチャーグランプリの入賞発表が12月末にあり、本校からは本科の学生グループが応募した提案が「優秀賞」、生産システム工学専攻1年生の石渡寛明君が「奨励賞」を受賞しました。キャンパスベンチャーグランプリとは、大学・短大・専門学校等に在籍する学生による新商品・事業アイデア・新事業の提案コンペのことです。石渡君が提案したアイデアは「人の呼吸を小型で軽量、安価なセンサで検出し、その信号をテレビやクーラーのコントロールに応用する」というもので、重度の身体障害者の微弱な呼吸でもスイッチング動作を可能にするなど、福祉機器への応用が期待できることが評価されました。

軽金属学会「希望の星賞」を受賞

専攻科生産システム工学専攻2年生の片平君(指導教員:中教授)が、平成20年度軽金属希望の星賞を受賞しました。

軽金属希望の星賞は、「軽金属の学業の向上発展を奨励し、軽金属の未来を担う人材」の育成を目的として、人格・学業ともに優秀な学生に社団法人軽金属学会から贈られる賞です。対象者は大学院修士課程(博士前期課程)、学部学生または高等専門学校専攻科の学生とし、当該年度に修了または卒業する予定の者に贈呈されます。片平君は、本科5年生より地道に研究に取り組み、専攻科修了までの3年間で、学術論文、学外発表論文件数は、13編を超え、大学院修士課程を凌ぐ研究実績が評価されたものです。



落合校長へ受賞の報告

平成20年度学術論文・学外研究発表件数

専攻科では、学術論文、学外の研究発表を奨励しています。平成20年度も多くの実績を残しました。

学術論文(研究紀要を含む)	学会発表	中四国高専研究交流会	国際会議
13	26	13	0

